

平成 28 年度 研究成果報告書

Research Achievement Report FY2016

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパⅡ・教授
氏名 Name	高橋 美恵子
専門分野 Academic Field	社会学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	子育て世代のワーク・ファミリー・バランス
<p>本年度は、国際比較と多様性の視点からみた子育て世代の男女のワーク・ファミリー・バランス (WFB) を主な研究テーマとして取り組んだ。第 1 に、研究代表者を務める科研プロジェクト「多様性社会のワーク・ファミリー・バランスに関する研究」の初年度として、平成 29 年度～31 年度に研究対象国であるスウェーデン、オランダ、ドイツで実施予定のインタビュー調査の準備作業に着手した。平成 28 年 8 月～9 月にスウェーデンとオランダに赴き、現地企業計 4 社の人事労務管理者へのインタビュー調査と、現地の研究協力者との意見交換を行った。両国での多様な働き方（正規・非正規、フルタイム・パートタイム等）と多様な家族・ライフスタイル（ふたり親・ひとり親家族、同性カップル等）を包摂する WFB についての考察を深めた。</p> <p>第 2 に前科研プロジェクト「グローバル化時代の日本男性のワーク・ファミリー・バランスに関する研究」の研究成果報告作業を行った。まず、平成 27 年 9 月にオーガナイザーとして開催した国際セッション（9 月 5 日：日本家族社会学会第 25 回大会）で得られた知見を、『家族社会学研究』Vol.28, No.2.(2016)で、英語論文特集として企画・発表した。同誌に第一著者として執筆した論文“Work Family Balance of Families with Small Children: How to achieve gender equality in parenting”が掲載された (pp.161-168)。さらに、同プロジェクトで、スウェーデン駐在員と元駐在員男性を対象として平成 25 年度と 26 年度に実施したインタビュー調査の結果を分析し、その成果を論文「スウェーデン駐在経験者の働き方と家族生活—子育て世代の日本男性の意識と実践の変化—」（『IDUN—北欧研究』Vol.22, 2016. 2017 年 3 月末刊行予定）として著した。</p> <p>第 3 に、平成 27 年度に企画分析委員として従事した内閣府「少子化社会に関する国際意識調査」から得られたデータを用いて、「子育ての協同性—日本、スウェーデン、フランス、イギリスの比較研究」（ディスカッションペーパー）を執筆し、「社会政策学会 テーマ別分科会 4 子育て家族のウェルビーイングに関する実証研究：国際比較の視点から」（英語によるセッション）にて報告を行った。</p>	